

2009/7/27開催・緊急特別セミナー

低金利下の債券運用の革新

～本源的投資収益としての利息の量と質～

セミナーアンケート結果

HCアセットマネジメント株式会社

2009.7.30



「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

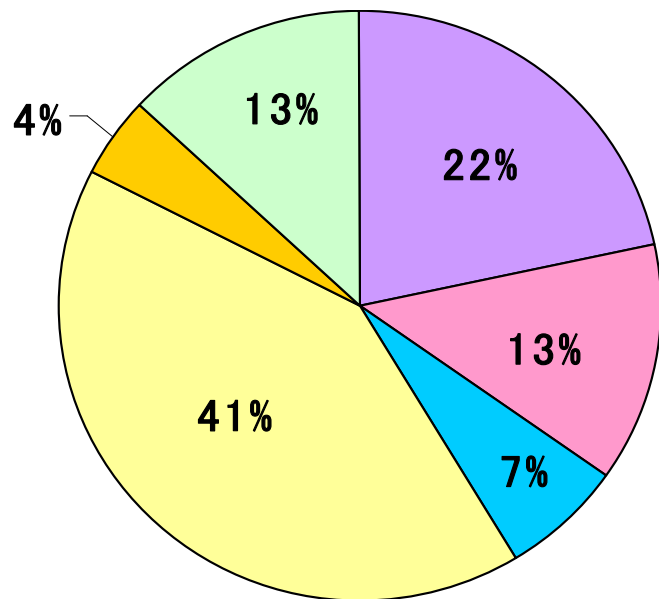
本セミナーにて、債券運用に対する考え方についてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数 計73名
- ・アンケート回答者人数 計46名

回答率 : 63%

※小数点第一位以下切捨

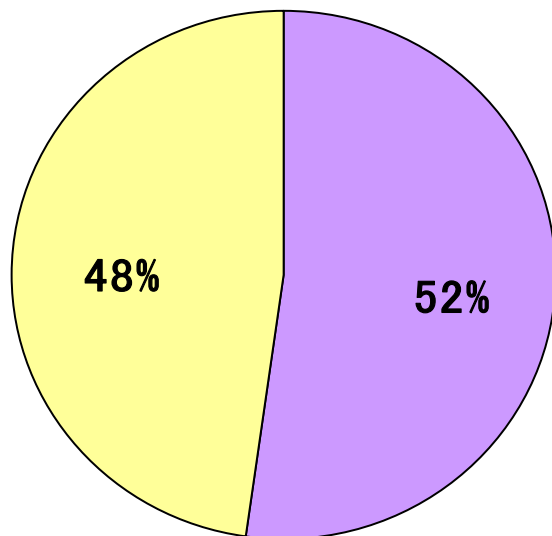
アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



	人数
①	10
②	6
③	3
④	20
⑤	2
⑥	5

- ①年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ②金融機関の自己資産運用担当者
- ③大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④投資運用業者(信託銀行を含む)
- ⑤コンサルタント
- ⑥その他[PE ファンドマネジャーなど]

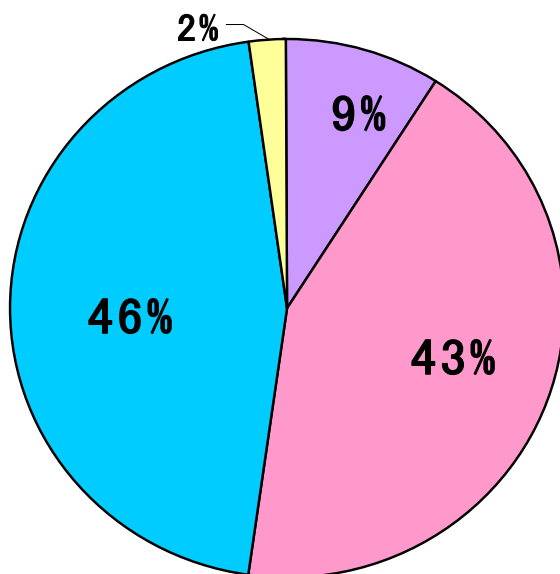
Q1 債券の運用について、どのようにお考えでしょうか。どちらかと言えば、より近いほうを選択ください。



	人数
①	23
②	21

- ①金利収入を得ることが目的なので、適宜、入替えを行うにしても、原則としては、満期まで保有する前提で銘柄選択を行う。
- ②価格変動を見込んだトータル・リターンで考えるべきなので、原則としては、途中売却の可能性が高いことを前提に銘柄選択を行う。

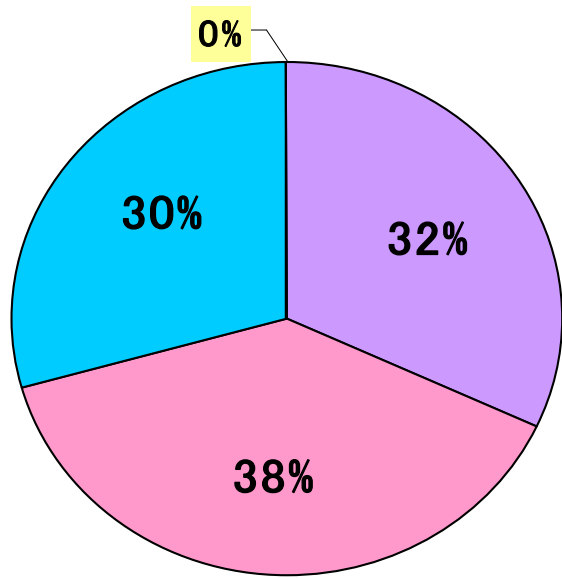
Q2 債務を前提とした資産運用に当たって、リスク管理上、重要だと考えられる点は次のどれでしょうか。
最も重要だと思われるものを一つだけお選びください。



	人数
①	4
②	19
③	20
④	1

- ①資産と債務の時価変動をできるだけ一致させること。
- ②資産側のキャッシュフロー収入と債務側の支払キャッシュフロー額をできるだけ一致させること。
- ③債務構造の変化に対応するべく、環境の変化に合わせて柔軟に資産構成を見直すこと。
- ④その他

Q3 債務上回る付加価値を実現するためには、どのような資産構成を目指すべきだと思いますか。
最も重要だと思われるものを一つだけお選びください。



	人数
①	14
②	17
③	13
④	0

- ①債券(債権含む)を中心とした運用の中で、金利リスク(期限前償還等のオプション含む)の多様化を図ること。
- ②債券(債権含む)を中心とした運用の中で、金利リスク以外のリスク(信用リスクや保険等の特殊リスク含む)の多様化を図ること。
- ③株式など、債券(債権含む)以外の投資対象を組み入れること。
- ④その他